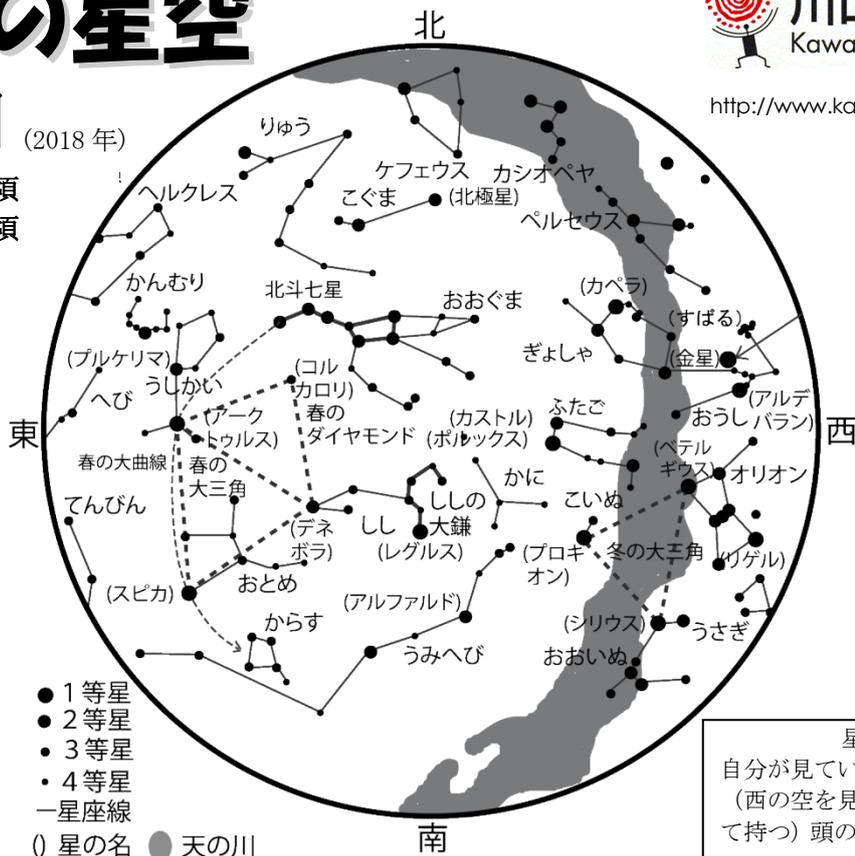


# 今月の星空



4月 (2018年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢 ○ 下弦 8 日、● 新月 16 日、◐ 上弦 23 日、○ 満月 30 日

惑星情報	金星	夕方	西	(おひつじ座 → おうし座 -4 等級)
	火星	明け方	南	(いて座 0 等級)
	木星	明け方	南西	(てんびん座 -2 → -3 等級)
	土星	明け方	南	(いて座 0 等級)

## ☆火星と土星が見かけ上、接近 (上旬)

今年7月、地球に大接近する火星が少しずつ明るくなってきています。今月上旬の明け方、南の空を眺めると、その火星と土星が並んで見えています。2つの惑星は、3日には、見かけ上およそ1度(満月2個分ほどの幅)まで接近します。火星は赤みを、土星は黄色みを帯びて見えますので、色を比べてみてください。8日には、ここに月が加わり、とてもにぎやかになります。

## ☆春の星座と「春の大三角」、「春のダイヤモンド」

南の空高くには、春の星座の「しし座」が見られます。その1等星レグルスから、「?」マークを反転したような形に星が並んでいます。この部分は、ししの頭から胸にあたり、西洋の草刈り鎌と形が似ていることから「ししの大鎌(おおがま)」、日本では雨樋(あまとい)をかける金具に見立て「といかけぼし」と呼ばれることがあります。その東には、ししのしっぽで輝く2等星デネボラがあります。

デネボラと2つの1等星アークトゥルスとスピカを結ぶと春の大三角ができあがります。夏の大三角や冬の大三角は1等星3つで出来ているのに対し、春の大三角は2等星のデネボラが含まれているため、少し控えめな印象です。

また、春の大三角とその北側にある3等星コル・カロリを結んでできる四角を春のダイヤモンドと呼びます。

## ☆二重星「コル・カロリ」

肉眼では1つの星のように見えるが、望遠鏡を使うと2つの星に分かれて見える星を二重星といいます。2つの星のうち、明るい方を主星(しゅせい)、暗い方を伴星(ばんせい)といい、上で紹介したコル・カロリは、主星が3等星、伴星が5等星の二重星です。この星は、小型の望遠鏡でも2つの星に分かれて見えます。また、うしかい座のプルケリマ、はくちょう座のアルビレオは、色の違いが美しい二重星として知られています。

4月14日の夜間観測会では、当日見られる二重星を観測する予定です。